

2015/02/21  
OpenCAE勉強会@岐阜

# FrontISTR Windows版 インストール説明資料

OpenCAE勉強会 SH

# インストール方法①

- ここではWindows版バイナリーモジュールインストール方法を示します。
- ① FrontISTRのWindows版バイナリモジュール(FrontISTR\_V42c\_WIN.tar.gz)を以下からダウンロードします(32bit対応版ですが64bitWindowsで動作)。

[http://www.multi.k.u-tokyo.ac.jp/FrontISTR/reservoir\\_f/revisions.php](http://www.multi.k.u-tokyo.ac.jp/FrontISTR/reservoir_f/revisions.php)

(メールアドレスなどのユーザ登録が必要です)

Windows版4.2cを選択してダウンロードします(別バージョンをインストールする場合は各自読み替えをお願いします)



- ② tar.gz で圧縮されていますので解凍します(必要に応じてWindowsにtar.gzが解凍できるツールをインストールします)
- ③ 展開先のbinフォルダにPATHを設定します。例えばC:¥FrontISTR\_WINに展開した場合はコントロールパネル→システム→環境変数を編集 をクリックし、PATH 変数に C:¥FrontISTR\_WIN¥bin を追加します(次のページを参照ください)

# インストール方法②

## 環境変数の設定方法

Windows の環境設定はOS (XP, VISTA,7,8)により異なります。以下はWindows7 の環境設定例です。各自自身の環境に合わせて設定をお願いします。

コントロールパネル ホーム

システムとセキュリティ

ネットワークとインターネット

ハードウェアとサウンド

プログラム

システム  
環境変数を編集

システム環境変数の編集

位置センサーとその他のセンサー  
位置センサーとその他のセンサーの有効化  
位置センサー動作履歴の表示

環境変数

user のユーザー環境変数(U)

変数	値
PATH	D:¥caetools¥g95¥bin;C:¥docs¥caetools¥Dakota...
TEMP	%USERPROFILE%¥AppData¥Local¥Temp
TMP	%USERPROFILE%¥AppData¥Local¥Temp

新規(N)... 編集(E)... 削除(D)

システム環境変数(S)

変数	値
ANS_OLD_ATTACH	1
ComSpec	C:¥Windows¥system32¥cmd.exe
configsetroot	C:¥Windows¥ConfigSetRoot
FP_NO_HOST_CHE	NO

新規(W)... 編集(D)... 削除(L)

OK キャンセル

ユーザー変数の編集

変数名(N): PATH

変数値(V): ata 5. 2¥Dakota¥test;C:¥Elmer 7¥lib;C:¥Elmer 7¥bin

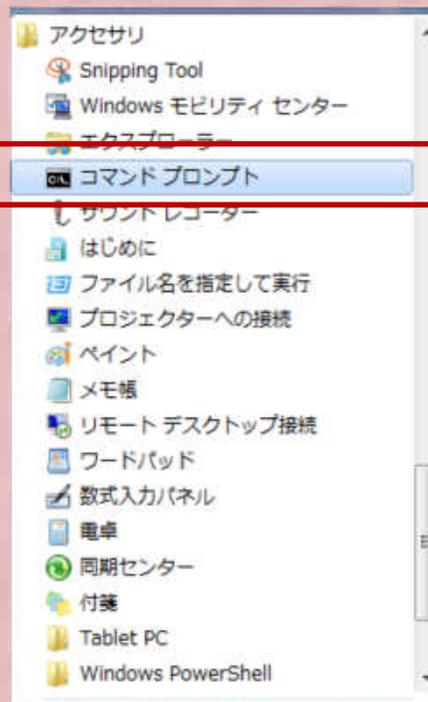
OK キャンセル

一番最後に  
C:¥FrontISTR\_WIN¥bin  
を追加

# インストール方法③

## FrontISTRコマンドの試験実行1

- コマンドプロンプトを起動し”fistr1”を実行します。ここでは正常にPATHが設定されているかを確認するため、実際に計算を実行させるわけではありません。制御ファイル(\*.cnt)やメッシュファイル(\*.msh)の存在しないディレクトリにいることを確認の上で”fistr1”を実行しますと”Failed to Open control file”などのエラーメッセージが下図の下段の例のように出ます。
- PATH が正しく設定されていないと“操作可能なプログラムまたはバッチファイルとして認識されません”などの下図の上の例のようなメッセージがでますので、この場合は再度PATH 設定が正しくされているを確認してください。



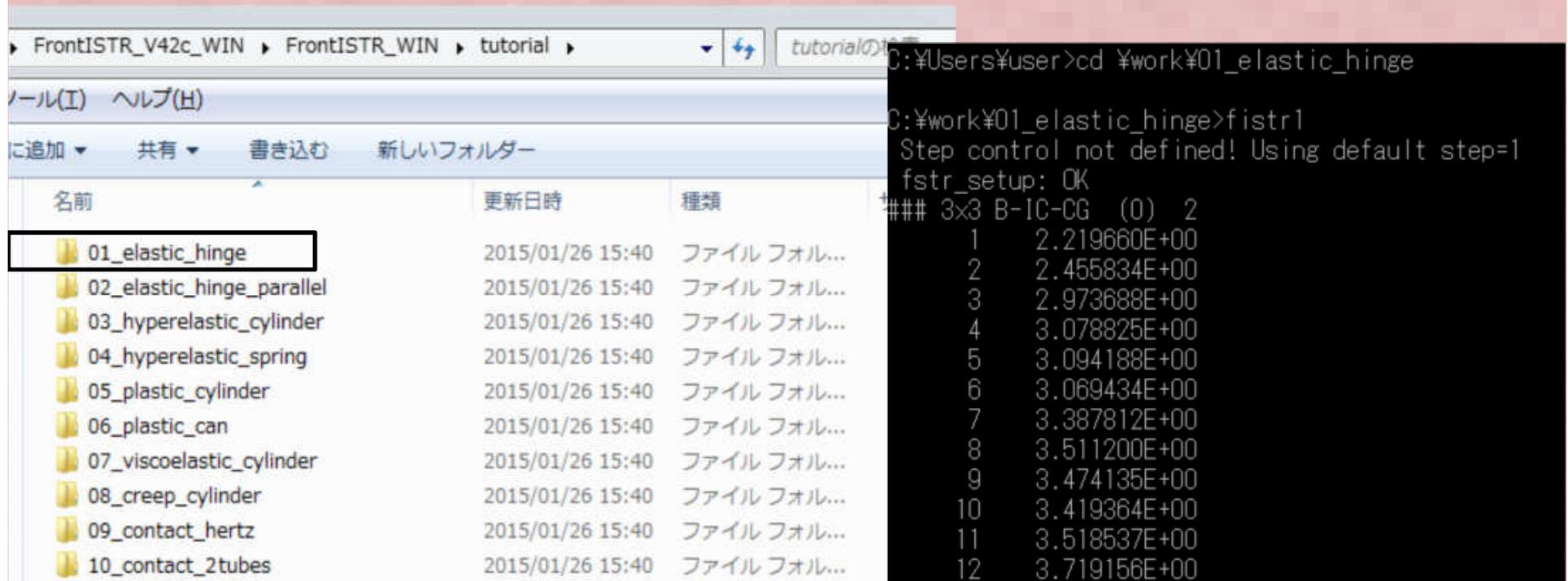
```
C:¥Users¥user>fistr1
'fistr1' は、内部コマンドまたは外部コマンド、
操作可能なプログラムまたはバッチ ファイルとして認識されていません。

C:¥Users¥user>c:¥docs¥caetools¥FrontISTR_V42c_WIN¥FrontISTR_WIN¥bin¥fistr1.exe
Jan 27 19:42:19 Error: HECMW-UTIL-E0001: Failed to open control file(10313) (File: hecmw_ctrl.dat, No such file or directory)
```

# インストール方法④

## FrontISTRコマンドの試験実行2

- 展開後のtutorialフォルダのSampleデータを実行してみます。
- FrontISTR\_WIN¥tutorial¥01\_elastic\_hinge のフォルダを計算実行用の作業フォルダ下にフォルダ毎コピーします。ここでは例えば“C:¥work”の下にコピーします。
- コマンドプロンプトを起動して、先ほどコピーしたフォルダに移動します。  
“cd ¥work¥01\_elastic\_hinge”
- FrontISTRのコマンドを実行します “fistr1” → 計算が始まります  
(下のコマンドプロンプト画面のようにCGソルバのログが出てくれば正常にインストールされています。古いマシンでは計算時間が少しかかりますので終わるまで待つのが嫌な方は“cntrl+C”キーで強制終了ください。以上でFrontISTRの確認は完了です。次にプリポストツールのRevocapのインストールを行います。



The image shows a Windows Explorer window on the left and a terminal window on the right. The Explorer window displays the 'tutorial' folder containing subfolders named '01\_elastic\_hinge' through '10\_contact\_2tubes'. The '01\_elastic\_hinge' folder is highlighted. The terminal window shows the following commands and output:

```
C:¥Users¥user>cd ¥work¥01_elastic_hinge
C:¥work¥01_elastic_hinge>fistr1
Step control not defined! Using default step=1
fstr_setup: OK
### 3x3 B-IC-CG (0) 2
1 2.219660E+00
2 2.455834E+00
3 2.973688E+00
4 3.078825E+00
5 3.094188E+00
6 3.069434E+00
7 3.387812E+00
8 3.511200E+00
9 3.474135E+00
10 3.419364E+00
11 3.518537E+00
12 3.719156E+00
```

# インストール方法⑤

## Revocapのインストール

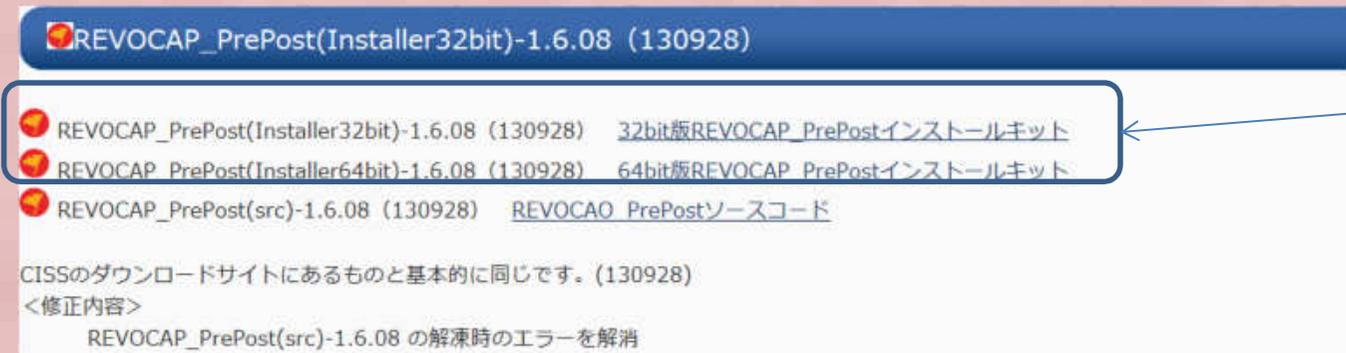
・FrontISTR同様にここではWindows版バイナリーモジュールインストール方法を示します。

① RevocapのWindows版バイナリモジュール(REVOCAP\_PrePost(Installer64bit)-1.6.08.zip または32bit版)を以下からダウンロードします

(32bit対応版と64bit対応版がありますので、各自自身のWindowsOSにあわせて対応バージョンをダウンロードしてください)。

[http://www.multi.k.u-tokyo.ac.jp/FrontISTR/reservoir\\_f/revisions.php](http://www.multi.k.u-tokyo.ac.jp/FrontISTR/reservoir_f/revisions.php)

(メールアドレスなどのユーザ登録が必要ですがFrontISTRダウンロード時に登録済であれば二回目以降は不要ですユーザIDは登録時メールアドレス、パスワードは現在"fistr"で固定です)



どちらか選択

② Zip形式で圧縮されていますので解凍します

③ 展開先の"setup.exe"を実行します。

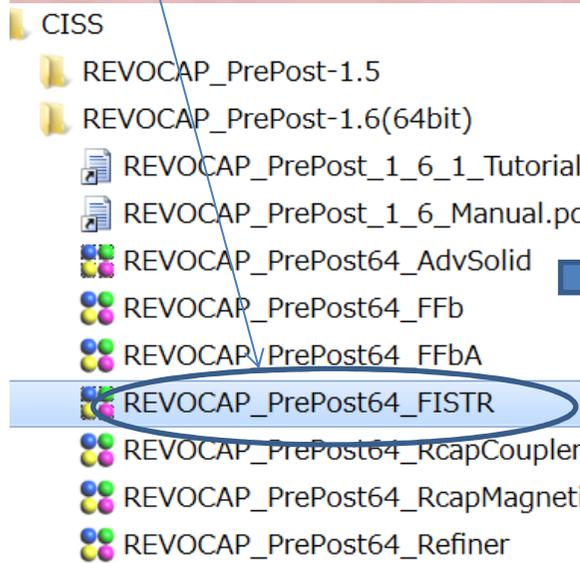
④ 64ビット版ではC:\Program Files (x86)\CISS\REVOCAP\_PrePost にデフォルトではインストールされますので確認ください

⑤ 全てのプログラム→CISS→RevocapPrePost-1.6(64bit)→ RevocapPrePost64\_FISTRを選択してRevocapが立ち上がることを確認ください。

# インストール方法⑤

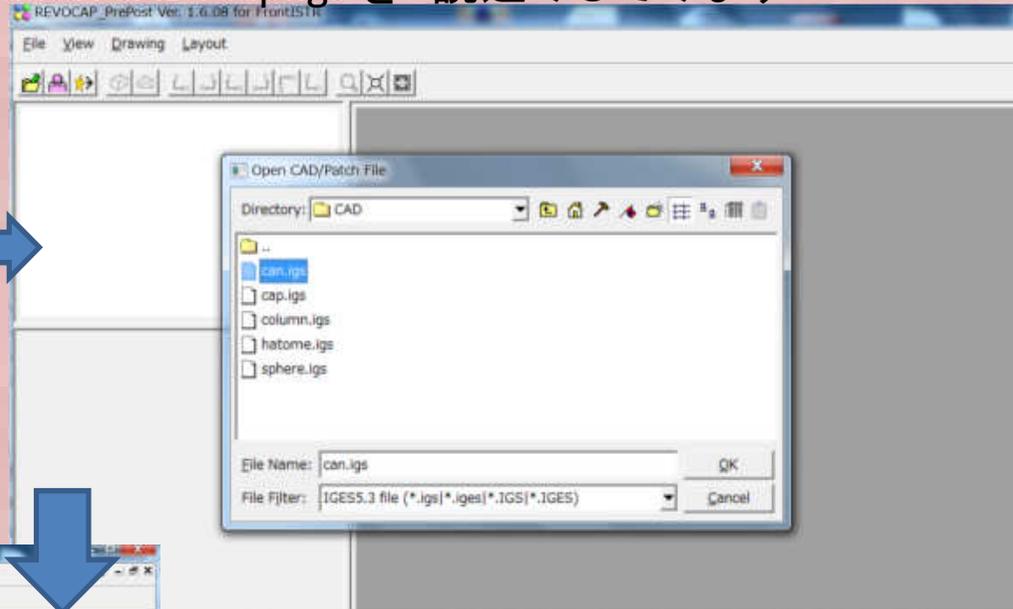
## Revocapのインストールの確認

### ① 起動



### ② CADデータを読み込んでみます

- File → ImportCAD → Revocap～(Installディレクトリ)の下の  
data\CAD\cap.igs を読み込みして試みます



③ 左のようなイメージが画面に出てきたら正常に動作しております。  
以上でインストールの確認は完了です。

